

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2006-258306 (P2006-258306A)  
 【公開日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-038  
 【出願番号】特願 2005-72369 (P2005-72369)  
 【国際特許分類】

**F 2 4 F 1/00 (2006.01)**

【F I】

F 2 4 F	1/00	3 9 1 A
F 2 4 F	1/00	3 9 1 B
F 2 4 F	1/00	3 9 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 5 日 (2007.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送風機と、

前記送風機の周囲に配置され、互いに間隔をへだてて配置されたフィン群と、前記フィン群に接続されて内部を冷媒が流動する伝熱管群とを有する少なくとも 3 台の熱交換器とを備え、

前記各熱交換器が有しているそれぞれの前記伝熱管群の管径が熱交換器毎に略同じで、前記少なくとも 3 台の熱交換器は、

少なくとも 2 台の熱交換器からなる第 1 熱交換器グループと、

前記第 1 熱交換器グループの前記熱交換器における前記伝熱管群の管径より大きい管径を有する前記伝熱管群を含む熱交換器からなる第 2 熱交換器グループとにより構成される、空気調和機の室内機。

【請求項 2】

暖房運転時には、前記第 2 熱交換器グループを構成する前記熱交換器から、前記第 1 熱交換器グループを構成する前記熱交換器へ冷媒を流動させることを特徴とする、請求項 1 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 3】

冷房運転時には、前記第 1 熱交換器グループを構成する前記熱交換器の少なくとも 1 つに冷房時冷媒流入部を設けると共に、前記第 2 熱交換器グループを構成する前記熱交換器の少なくとも 1 つに冷房時冷媒流出部を設けたことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の空気調和機の室内機。

【請求項 4】

前記フィン群を前記伝熱管群が貫通し、前記伝熱管群が貫通する前記フィン群の主表面における前記伝熱管群の貫通位置は、ある方向に整列した 1 以上の列を構成するように配置され、

前記フィン群の主表面における前記列の延在方向に垂直な方向における幅を、前記列の数で割った値を前記伝熱管群の 1 列分のフィンの幅とし、

前記第 1 熱交換器グループにおける前記伝熱管群の 1 列分のフィンの幅が、前記第 2 熱

交換器グループにおける前記伝熱管群の１列分のフィンの幅より小さいことを特徴とする、請求項１～３のいずれかに記載の空気調和機の室内機。

【請求項５】

前記第１熱交換器グループを構成する前記伝熱管群の管径を４ｍｍ以上６ｍｍ以下とし、前記第２熱交換器グループを構成する前記伝熱管群の管径を７ｍｍ以上１３ｍｍ以下とすることを特徴とする、請求項１～４のいずれかに記載の空気調和機の室内機。